人生にタックル㉝

道北遠征2010 ついにメーターオーバーを…！

まだ失業中！失業保険で釣りに行く

文・写真　カブラー斉藤
（東京都豊島区／失業中）

前回読めばわかる通り、直前まで免許取るのでいっぱいいっぱいでやはり準備が全然間に合わず。

まあ中型免許取ってカブ110に買い替え、遠征に間に合わせた、というだけでも自分としてはかなりやったった感はあるけどな。

帰ってきた「紫龍」

とはいえ「フライフィッシングはフライから入る」を公言している者として、ほとんどフライも巻けずに出発、というのはもちろん心苦しいことはいうまでもない。

が、ちょっとだけプラス要素もある。去年山形遠征行って以来紛失していた「紫龍」のびっちり詰まったメインのフライボックスが戻ってきたのだ。

最上川のどこかに忘れたか、H氏の車に忘れたか二つに一つだと思い、車は探して貰ったが出てこずに諦めていたのだ。が、結局H氏の車から出てきたとのこと。

実は「第88号に書く」と言ったが結局全然間に合わず、その後めんどくさくなって数ヶ月間H氏との連絡をブッチ切っていたのだが、今年になって「見つかったよ」とかいって宅急便でフライボックスを送ってきた。まあその時も連絡しようとも思ったが、結局面倒でせず。

まあ向こうも「お前がブッチ切ったんだからお前からわび入れてこい」ぐらいなつもりに思っていたことは想像に難くなかったが、遠征出発して留萌の宿にいるところで向こうから電話を掛けてきた。

フライボックスの件も話に出て、「送ったんだから礼の一つも…」とか何とか言うておったが、それだけはちょっと違うのである。

礼なんか言えるかっ

原稿落とした上、数ヶ月間ブッチ切っていたのは明らかに私が悪い。が、さんざん「探して」と頼んだのに「ないよ」で済ましてたくせに、1年以上経って見つけて送ってきたからって礼なんか言えるかっつーの！しかもそのおかげで（?）去年はボウズだったんだからな。あともうちょっと言えば、ブロウモンキーズのCDも堀内号の中のどこかに間違いなく眠っている。

めんどくさくなって数ヶ月間連絡をブッチ切っていた。今年になって「見つかったよ」とかいってフライボックスを送ってきた。まあその時も連絡しようとも思ったが、結局面倒でせず。

ところで言ってなかったが、紫龍を信じられなくなって実は数年、最近はあまり使わなくなった。だったらそのボックスなくたっていいじゃん、て言われりゃそれまでだが、もちろん紫龍以外にもいっぱい入ってるし、全くないのといざとなれば使えるのとでは精神的な安定が違うがな。

武士として2本差し

ところで去年の惨敗遠征から帰ってきた後、ヤフオクで前から欲しかったウィンストンのLT14フィート#9を発見、4万ちょっとで落札した。

これはメインで使っているLT16フィート#13と同じシリーズのもので、いずれにしろ10年以上前の竿だが、これが軽い割にパワーがあっていいんだな。稚内のI氏が使っていて欲しかったのだが、そう出回るものでもなくあきらめていたのだ。

が、たまたま発見、さして競られず落札できた。実は去年、TFOのスイッチロッドの#8を海外から直輸入で買ったのだが、柔らかすぎて失敗！

マイザー言うところでは（Spey Pages参照）「オーバーヘッドならアウトバウンドの#12がいい」とあり、実はリオのサイトで見るとアウトバウンドで#8だか#9となっていてどっちが本当か迷ったのだが、設計したマイザーを信じようと思ってそれ用の#12のヘッドを2本も仕入れたが大失敗！結論としてはリオの言う通り、#8か#9じゃないと無理、#12なんてとても乗らないという結末に。ちょっと高くてもBeulahにしときゃ良かった。

何故これを買ったかというと11フィートの4ピースなら何とか横積みできるのでサブロッドに最適と思ったからだ。しかし#8や#9なら猿払の風の中ではサブロッドとしても厳しく、無駄な買い物となってしまった。アクションも柔らかすぎ！

出発前日に何とか完成！

で、前記LT14フィート#9を買ったのだが、もちろん16フィートは外せないので両方持って行くとなると2本差しにしないと行かんわけだ。正直やりたくなかった。やりたくないからスイッチロッド買ったんだが、こうなってはやるしかない。

とのことで前野町のホームセンターに行って塩ビパイプと取り付け金具を調達し、「釣り竿取り付け装置」をもう一本製作。出発前日までに何とか完成し、当日になって付けてみたが一応問題なく2本差しできるようだった。

が、2本差しのためキャリアに付ける可動式安定用パイプも二本付ける必要があり、それはそれで付けられたが、オーバーキャリアの長さがプレスキャリア用超大型キャリアより短いため、10数年愛用のサイドバッグを付けるのがかなり窮屈になってしまった。まあ何とか付けられたけどな。

「釣り竿取り付け装置」でカブに２本差し

例によってスタートダッシュ失敗

4代目カブ号のおかげで大洗までは例年よりやや時間短縮して到着。まあ水戸街道は1車線しかない所で混んでれば、荷物満載の2本差しだとすり抜けもままならず、パワーアップの恩恵もさほどはないんだけどな。

そんなことでいつもの苦小牧到着。最初は曇りだったが、途中から降って来やがった。防寒もかねて上はカッパ2重に着ているが、下は着てないので致し方なく途中で着る。バイク用のブーツカバー的な物も前カゴに一応積んではあるが、面倒なのでほとんど付けたことはない。結論として雨がかなり強い場合、着いた頃には足はびしょ濡れになるのはいつものことである。

いつものつまらない国道275号線を雨の中走り、留萌まで。しかしここで一つ問題点があるのである。いずれこの話はどっかでや